

市議会だより



3月定例会

令和3(’21)年5月1日発行



桶北ミニバスケット
(桶川市スポーツ少年団)
加須市大利根文化体育館での練習試合(4/3)

主な内容

- ◎新年度予算審議
2～3ページ
- ◎審議された議案の内容
条例・補正予算審議
採決結果 4ページ
- ◎一般質問(14人)
5～11ページ
- ◎6月定例会のお知らせ
市議会のインターネット
中継について
編集後記ほか 12ページ

◆ 3月定例会日程 ◆

- 2月22日 開会、市長の行政報告、市長提出議案の上げ及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託
- 24日 市長提出議案の質疑・討論及び表決
- 3月 1日 総務常任委員会
- 2日 民生経済常任委員会
- 4日 一般会計歳入予算質疑
- 5日、8～11日 常任委員会(一般会計歳出の所管事務調査)
- 12日 一般質問(山中・岩崎・保坂・加藤)
- 16日 一般質問(岡安・砂川・坂本・星野)
市長追加提出議案の上げ及び説明
- 17日 一般質問(岡野・新島・佐藤・浦田・北村)
- 18日 一般質問(にいつま)
- 19日 特別会計(国保・介護・後期高齢)・事業会計(下水)歳入歳出予算質疑
- 23日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、委員会所管事務調査の委員長報告、当初予算一般会計歳出の総括質疑
- 25日 市長提出議案(当初予算)の討論及び表決、市長追加提出議案の質疑・討論及び表決、市長提出議案の上げ・説明・質疑・討論及び表決、閉会

令和3年度当初予算審議

令和3年度当初予算を可決しました

令和3年3月定例会は、2月22日から3月25日まで32日間開催されました。

市長提出議案19件の提案があり、審議されました。

会計名	3年度予算額	前年比較	増減率	
一般会計	239億9,400万円	6億1,200万減	△2.5%	
特別会計	国民健康保険	73億6,100万円	1,200万減	△0.2%
	介護保険	59億2,800万円	2億5,800万増	4.6%
	後期高齢者医療	11億3,800万円	900万増	0.8%
下水道事業会計	14億8,261万4千円	5,374万増 6千増	3.8%	

建設文教常任委員会
当初予算は、各常任委員会でそれぞれの所管事務について審査をいたしました。主な質疑については、次のとおりです。

《駅東口整備事業》

問 3億2,096万2,000円
駅前広場整備工事について伺う。

答 令和3年度の整備工事では、駅東口駅前広場の完成形を見据えながら現在の仮設自動車送迎場を拡張し、停車スペースを増設していく予定です。

《未就学児安全対策事業》

問 500万円
施工箇所と施工方法について伺う。

答 若宮交差点にガードパイプを設置

することに未就学児

等を含む歩行者の安全性を確保するものです。

また朝日交差点は、交差点内に歩車道境界プロックが設置されていますが、新たに横断歩道部に車止めを設置します。

《スマイル相談員の配置》

問 335万3,000円
本年度より全小

学校7名に増員となるが、どのような効果が期待できるのか伺う。

答 2名から7名に増員した際の効果

ですが、児童が悩みを担任だけでなく、担任以外の人に相談できることにより、早く悩みが解決できるところ、また児童にきめ細やかに対応できる

《コミュニティ・スクール事業》

89万8,000円

問 コミュニティスクールを導入している学校と、未導入の学校との差異をどう捉えているか伺う。

答 令和2年度未導入の6校については、学校評議員制度、学校関係者評価委員会を設置してあり、校長の求めに応じて意見をいただき、より良い学校運営ができるよう行ってきました。

その運営については、教育委員会としても指導及び支援をしていきたいと考えます。

《石川川浚渫設計委託》

問 500万円
石川川の浚渫工事の予定と効果について伺う。

答 令和3年度に実際に浚渫工事を予定しております。現在の河道に堆積している土砂等の撤去を行い、河道の有効断面を確保し、河川の流加能力が向上することで、浸水被害の軽減等が図れるものです。

《道の駅推進事業》

問 205万2,000円
道の駅について伺う。

答 道の駅の実施方針の公表は、令和3年夏頃に行い、債務負担行為の設定を議会に提案をし、議決後、事業者公募を進めていきます。

なお、道の駅は、市整備範囲は市で設計・工事・維持管理・運営を行い、国の範囲は、国で設計・工事をを行います。維持管理は市で一体として行い、維持管理費は、基本的には市で出すこととなります。国の維持管理費も一部入っていますので、国から維持管理費としてお金をいただき、それを市に入れて、市が民間事業者に対して支払いをするものです。

《高齢者虐待対応専門職チーム業務委託》

問 7万2,000円
虐待に関する相談の対応を伺う。

市内の虐待の関

答 市内の虐待の関

係の通報等は、令和元年度16件、令和2年度11件です。通報先は、警察等から非常に多くなっています。実際に市で保護をする必要がある場合は、弁護士・社会福祉士に虐待に当たるかどうか、虐待に当たる場合

にどのような方法、そして今後どのようなようにしていくかという助言をもらいます。

《不妊治療等助成金》

問 430万円
前年度との比較

と、令和3年度の積算について伺う。

答 不妊・不育症検査費助成金は、上限が2万円で40件を見込んで80万円の予算を計上

しています。不妊治療費助成金は、初回上限額10万円で20件見込み200万円、2回目以降が5万円上限で30件を見込み150万円、総額430万円を予算計上しています。

今回の制度で、現行の支援制度から拡充され、

討論【令和3年度一般会計当初予算】

令和3年度一般会計当初予算は、本会議での歳入、総務・民生経済・建設文教常任委員会での歳出の所管事務調査による審議を行い、各常任委員長による本会議での委員長報告後、市執行部に対し本会議において総括質疑を行いました。

3月議会最終日に4名の議員から、この予算に対しそれぞれ反対・賛成の立場から討論がありました。

それぞれの討論の概要については、次のとおりです。



学校のICT教育が始まるが、支援員も不十分で、拙速に進めるべきではない。少人数学級等の環境整備が先決だ。

学校のICT教育が始まるが、支援員も不十分で、拙速に進めるべきではない。少人数学級等の環境整備が先決だ。

学校のICT教育が始まるが、支援員も不十分で、拙速に進めるべきではない。少人数学級等の環境整備が先決だ。

学校のICT教育が始まるが、支援員も不十分で、拙速に進めるべきではない。少人数学級等の環境整備が先決だ。

事務事業の委託が多すぎる。職員でやるべき仕事は、人員を確保して市職員で行うべきだ。個人情報取扱い、行政の画一化・標準化が心配されるデジタル化は、市民への影響を慎重に検討し、市民と一緒に考える必要がある。

事務事業の委託が多すぎる。職員でやるべき仕事は、人員を確保して市職員で行うべきだ。個人情報取扱い、行政の画一化・標準化が心配されるデジタル化は、市民への影響を慎重に検討し、市民と一緒に考える必要がある。

事務事業の委託が多すぎる。職員でやるべき仕事は、人員を確保して市職員で行うべきだ。個人情報取扱い、行政の画一化・標準化が心配されるデジタル化は、市民への影響を慎重に検討し、市民と一緒に考える必要がある。

事務事業の委託が多すぎる。職員でやるべき仕事は、人員を確保して市職員で行うべきだ。個人情報取扱い、行政の画一化・標準化が心配されるデジタル化は、市民への影響を慎重に検討し、市民と一緒に考える必要がある。

事務事業の委託が多すぎる。職員でやるべき仕事は、人員を確保して市職員で行うべきだ。個人情報取扱い、行政の画一化・標準化が心配されるデジタル化は、市民への影響を慎重に検討し、市民と一緒に考える必要がある。

事務事業の委託が多すぎる。職員でやるべき仕事は、人員を確保して市職員で行うべきだ。個人情報取扱い、行政の画一化・標準化が心配されるデジタル化は、市民への影響を慎重に検討し、市民と一緒に考える必要がある。

事務事業の委託が多すぎる。職員でやるべき仕事は、人員を確保して市職員で行うべきだ。個人情報取扱い、行政の画一化・標準化が心配されるデジタル化は、市民への影響を慎重に検討し、市民と一緒に考える必要がある。

事務事業の委託が多すぎる。職員でやるべき仕事は、人員を確保して市職員で行うべきだ。個人情報取扱い、行政の画一化・標準化が心配されるデジタル化は、市民への影響を慎重に検討し、市民と一緒に考える必要がある。

反対

賛成

反対

賛成

所得制限が撤廃されています。助成額が初回の30万円が、1回30万円と拡充され、助成額が15万円から1回30万円と拡充されます。

総務常任委員会

《桶川飛行学校平和祈念館管理運営経費》

桶川飛行学校平和祈念館は入場無料だが、積立金と施設維持のための運営経費とのバランスの考えを伺う。

問

桶川飛行学校平和祈念館は入場無料だが、積立金と施設維持のための運営経費とのバランスの考えを伺う。

答

来年度の運営経費の全てを基金の積立金で賄うことは大変厳しいところですが、今後も寄附金や募金額の増

額につながるPRや取組を続けたいと考えます。

試験運行の効果検証、本格運行に向けた協議を進め、良い対策を考えていきたいと思えます。

《職員人件費》

39億9,020万円

コロナ禍の異例の状況で、職員にとつてどのような1年であったのか伺う。

問

コロナ禍の異例の状況で、職員にとつてどのような1年であったのか伺う。

答

市民や企業等への支援業務を行う部署は、時間外勤務が増大する状況にあります。一方、イベント等の中止等により、関係する部署は、時間外勤務が減少傾向にあります。なお、コロナ禍で業務

増の部署に対しては、プロジェクトチームを作り短期集中的に働く、また会計年度任用職員の活用や任期付職員の採用等の取組をしたところです。



条例等の議案審議／採決結果

条例等

桶川市介護保険条例の一部を改正する条例

桶川市高齢者福祉計画及び桶川市介護保険事業計画の見直し等に伴い、保険料率の改定を行うものです。令和3年度からの保険料は、基準額月額5,300円、年額6万6,000円、県内の市の平均は5,343円と

なっています。その他の変更点は、所得段階区分の一部を国の改正に合わせて変更しています。

問

低所得者への影響と対策を伺う。

答

策は、居宅の方に利用者負担の軽減ということで市独自で行います。

第1段階から第3段階の非課税世帯は、利用料の70%軽減となっています。近隣他市について50%の軽減のところを本市では70%の軽減を行っており、引き続き行ってきたいと思えます。

今回の値上げで、市民

の方々にご負担をかけるということ、しっかりと周知をしていきます。

反対の立場から討論がありました。賛成多数で可決となりました。

補正予算

【令和2年度補正予算】

国の補正予算による国庫補助金内示に伴うもの等で、主な質疑は次のとおりです。

問

電算用備品について詳細を伺う。

答

パソコンの購入を予定しており、

ノートパソコンを100台購入する予定です。サテライトオフィスやテレワークなど、コロナ禍においても行政サービスの継続性を確保していくというところで、必要な台数を計上しています。

【令和3年度補正予算】

新型コロナウイルス関連で、早期実施の必要性があるもの等で追加議案として提案され定例会最終日に審議しました。主な質疑は次のとおりです。

問

自治会感染予防対策補助金の内容

を伺う。

答

令和2年度上限5万円の補助と基本的に変わりません。金額を増額しています。

今年度の実績状況は、市内78の自治会等のうち76の地区が申請を行っています。

問

非常に申請率が高い状況となっておりますので、

新年度も実施を続けていきたいと考えています。

問

小中学校の網戸設置事業について

伺う。

答

普通教室の全てと体育館に設置を

します。

問

小中学校図書室の図書除菌機の設置について伺う。

答

市の図書館に設置のものと同様のものを考えています。

現在、一度に6冊除菌できる機械を考えており、主に図書館補助員が操作をする予定です。

3月定例会で審議された議案とその結果

◆次の議案は全会一致で可決されました。

議案番号	議案名	議案番号	議案名
第1号	令和2年度桶川市一般会計補正予算(第10回)	第13号	和解について
第2号	令和2年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第4回)	第14号	令和2年度桶川市一般会計補正予算(第11回)
第3号	令和2年度桶川市介護保険特別会計補正予算(第4回)	第15号	令和3年度桶川市一般会計補正予算(第1回)
第4号	令和2年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)	第16号	令和3年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)
第5号	令和2年度桶川市公共下水道事業会計補正予算(第3回)	第17号	桶川市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
第10号	令和3年度桶川市公共下水道事業会計予算	第18号	桶川市国民健康保険条例の一部を改正する条例
第12号	桶川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	第19号	令和3年度桶川市一般会計補正予算(第2回)

◆賛否が分かれた議案は次のとおりです。

○は賛成 ×は反対 ※議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	新国会					新風クラブ21			公明党		日本共産党		政和会		ともに生きる会		無党派	
			砂川和也	岡野千枝子	岡安政彦	相馬正人	糸井政樹	にいつま亮	新島光明	江森誠一	佐藤洋	岩崎隆志	保坂輝雄	仲又清美	坂本敏治	星野充生	加藤ただし	山中敏正	北村あやこ	浦田充
第6号	令和3年度桶川市一般会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号	令和3年度桶川市国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	令和3年度桶川市介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	令和3年度桶川市後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	桶川市介護保険条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

ふるさと納税について



山中 敏正

政和会



問 桶川市の取組について伺う。

答 本市の地場産品による記念品を数多くご用意し、今年度2月末現在で、約640件の寄付をいただいています。

問 ふるさと納税の年度における寄付受入額と市民税影響額の推移について伺う。

答 寄付受入額の推移ですが、本年2月末現在、2,296万8,000円と、ここ数年では2倍のペースで増加しています。

問 市民税減少額については、令和2年度が9,791万3,260円と、年々減少額が増加している傾向です。

答 ふるさと納税と地方交付税の関係について伺う。市民の方が桶川市外の団体にふる

さと納税をした場合、本市の税収が減少しますが、市税減収分の75%は普通交付税で補填されます。

問 ふるさと納税を増やす考えで、企業版ふるさと納税への取組について伺う。

答 企業が自治体に寄付をした場合、税制上の優遇措置が取られ、施策を推進する上で必要に応じて対応していきたいと考えております。

問 こちらの制度を活用した事業として、駅東口の開発と仲仙道拡幅に伴い、宿場町をイメージした街並み再現事業への取組や、桶川飛行学校平和祈念館を世界へ平和の発信をしていく事業への寄付、また青少年の健全育成を目的とし

たアスリート応援プロジェクトなど如何なものか。諸施策を推進するに当たり、効果的な手法を選択していきたいと考えております。

問 高齢者への支援について

答 自分でごみを出せない高齢者への支援について伺う。

答 身近な人の協力対象に、市職員が直接出向いての訪問収集や、介護保険制度におけるヘルパーや在宅家事応援援助オケちゃんサービスによる日常生活を援助する協力員が、支援をしてくれています。

問 市内循環バスルートの変更も含めデマンド交通導入への考えについて伺う。

答 先進自治体の導入の背景や運行後の状況等の調査をし、利便性の向上に向けた取組を検討してまいります。

新たな防災・減災へ。気候変動に対応するため、補助金を活用した本市事業について



岩崎 隆志

公明党



問 今後取り組む予定の事業について伺う。

答 地域福祉活動センター大規模改修事業や農業センター耐震改修事業。石川川の浚渫事業や道路整備事業、道路橋梁修繕事業、備蓄用防災倉庫整備事業や大規模盛土造成地調査事業などです。

問 本市にとって防災、減災のため、今何が必要なのか伺う。

答 地形的に本市は、地震動に強い関東ローム層の平たんな大宮台地上にあり、東を利根川水系元荒川に、西を荒川水系荒川に挟まれており、近年の災害発生状況を考えますと、令和元年の台風19号のような風水害の対策への対応を当面

優先しなければならぬと想定しています。

問 石川川浚渫の整備範囲、スケジュール及び目的、効果を伺う。

答 範囲は、石川川が荒川へ合流する石川樋管から上流の城山公園南側の県道川越栗橋線までの延長1.178メートル区間を計画しています。令和3年度に実施設計を行い、令和4年度に浚渫工事を実施する予定です。河道内に堆積した土砂やごみなどをさらうことによつて河川の流下能力が向上し、浸水被害の軽減などが図られるものと認識しています。

防災拠点としての道の駅整備について

問 開業時期について伺う。

答 令和6年度中として進めています。

問 防災拠点としての道の駅整備の考えと具体策について伺う。

答 休憩機能、情報発信機能、地域連携機能の3つの機能に加え、物資の備蓄を行う防災倉庫や電源確保としての非常用発電機、防災用トイレ、防災かまどベンチなどを整備することで、防災機能を持たせる方針を定めました。

また、指定広域避難場所の城山公園をはじめ周辺には数多くの防災関連施設があります。広域交通網の結節点という立地条件を生かし進めて参ります。

「道の駅(仮)おけがわ」の開業時期は

実施方針の公表を令和3年夏頃とした場合

令和6年度中の予定

執行部答弁より

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

新型コロナウイルスワクチン接種について



保坂 輝雄

公明党



問

65歳以上の高齢の者へのワクチン接種こそコロナ収束の鍵になると確信する。

そこで、接種体制と周知方法について、伺う。

答

市内の22の医療機関による個別接種を検討しており、4月下旬に高齢者宛にクーポン券を郵送する予定です。

問

副反応の1つであるアナフィラキシーショックにどのように対応するか、伺う。

答

22の医療機関にキシシーショック対応できる薬剤等を市で購入し、配布する予定です。

問

接種が原則だが、市の把握方法を伺う。

現在、国が開発中のマイナンバー

カードを使用する新システムを活用し、管理していく予定です。

問

ワクチン接種の成功に向けて、市長の考えを伺う。

答

ワクチン接種を始めたとする新型コロナウイルス対策に全力で取り組んでまいります。

保育所および放課後児童クラブの待機児童解消について

今年度の保育所の定員数、申込数、待機児童数を伺う。

問

定員数1191人、申込数1193人で、潜在的待機児童数は50人です。

答

定員数と申込数がほぼ同数なので、民間保育所等とのきめ細かい調整により待機児童を減らすことは可能か。

問

この保育所でもいいから入所したいという要望に対しては、調整により待機児童を減らせると思っています。

答

公営放課後児童クラブの定員数、申込数、待機児童数は、定員数576人、申込数602人で、潜在的待機児童数は58人です。

問

放課後児童クラブについても、保育所と同様、民営クラブとのきめ細かい調整により待機児童数を極小化することは可能か。

答

調整により待機児童数は少なくとも大きく減らしてまいります。

問

放課後児童クラブで待機児童が多いのは桶川西小学校の余裕教室の活用を要望するが、教育委員会の見解は。

答

桶川西小学校につきましては、児童数の増加から、余裕教室が確保できるかが課題ですが、課題解決に向けて努めてまいります。

問

「持続可能なまちづくり」について、小野市長に伺う。

答

持続可能なまちづくりについては、様々な状況を柔軟に受け止め、それを力に変え、さらに成長できるしなやかな強さが求められています。

問

災害対応については江川や荒川への対策が急務です。要望活動等を通じて早期完成を県や国へ働きかけます。石川川の浚渫事業や防災備蓄倉庫の整備、災害時の情報伝達システムの導入など、必要な対策を講じます。

これからの50年を見据えた3期目の取り組みについて小野市長に伺う



加藤ただし

政和会



問

「持続可能なまちづくり」について、小野市長に伺う。

持続可能なまちづくりについては、様々な状況を柔軟に受け止め、それを力に変え、さらに成長できるしなやかな強さが求められています。

答

災害対応については江川や荒川への対策が急務です。要望活動等を通じて早期完成を県や国へ働きかけます。石川川の浚渫事業や防災備蓄倉庫の整備、災害時の情報伝達システムの導入など、必要な対策を講じます。

問

課を設置し、全力で取り組みます。

答

未来を担う子供たちについては、GIGAスクール構想により全児童生徒に情報端末を用意することができ、新たな教育環境を整えます。

問

人口減少の対応について

答

人口減少への対応について、小野市長に伺う。

人口減少への対応について、小野市長に伺う。

問

人口減少への対応について、小野市長に伺う。

答

人口減少への対応について、小野市長に伺う。

問

人口減少への対応について、小野市長に伺う。

答

人口減少への対応について、小野市長に伺う。

問

人口減少への対応について、小野市長に伺う。

答

人口減少への対応について、小野市長に伺う。

ます。高齢者が心身共に健康な生活を送ることができるよう介護予防教室や通いの場の充実、高齢者の社会参加等に引き続き取り組みます。

行財政経営について

行財政経営について、小野市長に伺う。

問

多種多様化する市民ニーズや社会環境の変化に対応し、市民の皆様が寄せる期待にスピード感を持ってお答えするため、市民サービスと内部業務の両面でデジタル化を進めます。民間の新しい考え方や活力の活用も、良質な市民サービスの提供につながるものは、引き続き採用します。今後も、夢と希望を未来へつなぐまちづくりをスピード感を持って取り組みます。

答

多種多様化する市民ニーズや社会環境の変化に対応し、市民の皆様が寄せる期待にスピード感を持ってお答えするため、市民サービスと内部業務の両面でデジタル化を進めます。民間の新しい考え方や活力の活用も、良質な市民サービスの提供につながるものは、引き続き採用します。今後も、夢と希望を未来へつなぐまちづくりをスピード感を持って取り組みます。

問

多種多様化する市民ニーズや社会環境の変化に対応し、市民の皆様が寄せる期待にスピード感を持ってお答えするため、市民サービスと内部業務の両面でデジタル化を進めます。民間の新しい考え方や活力の活用も、良質な市民サービスの提供につながるものは、引き続き採用します。今後も、夢と希望を未来へつなぐまちづくりをスピード感を持って取り組みます。

答

多種多様化する市民ニーズや社会環境の変化に対応し、市民の皆様が寄せる期待にスピード感を持ってお答えするため、市民サービスと内部業務の両面でデジタル化を進めます。民間の新しい考え方や活力の活用も、良質な市民サービスの提供につながるものは、引き続き採用します。今後も、夢と希望を未来へつなぐまちづくりをスピード感を持って取り組みます。

問

多種多様化する市民ニーズや社会環境の変化に対応し、市民の皆様が寄せる期待にスピード感を持ってお答えするため、市民サービスと内部業務の両面でデジタル化を進めます。民間の新しい考え方や活力の活用も、良質な市民サービスの提供につながるものは、引き続き採用します。今後も、夢と希望を未来へつなぐまちづくりをスピード感を持って取り組みます。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

災害時の情報伝達について



岡安 政彦

新国会



問 自然災害の多い中、災害を最小限にとどめるには、災害時の情報伝達をいち早く市民の皆さんに伝えることが大切だと考える。

答 そこで今回、工事が完了したデジタル防災行政無線の活用についての考えを伺う。

答 防災行政無線のデジタル化工事の中で、防災行政無線で放送した内容を電話で聞き直すことの出来る「電話応答サービス」を開始しております。

また、放送と同時に、ツイッターや防災情報メール、エリアメールなどに配信できる「複数メディア連携システム」、指定避難所になっている子局に設置している双方向通話が可能となる「アン

サーバック機能」などを整備いたしました。

問 これらの機能により、災害時の情報伝達の迅速化、多様化を図っているところがございます。

答 今回の予算の中に、電話一斉送信システムがあるが、この活用について伺う。

答 避難行動などを判断するためには適時に適切な情報が必要です。令和元年の台風19号の際は、自主防災組織の方へ避難情報を伝達するため、一軒一軒電話連絡をさせていただき、人員と時間を要した状況がございました。

このような状況を改善するために自主防災組織の方の事前登録をした連絡先に一斉に情報を提供できる「災害時情報伝達

システム」を導入する予定でございます。

この導入により、極めて短時間で必要な情報を伝達することが可能となり、災害対応業務の効率化が出来ることとなります。

問 障がい者への情報伝達について伺う。

答 情報伝達手段に配慮を要する方については、障がい者手帳取得時や転入手続き時において、障がいに応じたサービス等のご案内を行っています。

例を挙げますと、視覚障がい者の方につきましては、緊急地震速報を自動で受信できる地上デジタル放送対応ラジオの支給制度をご案内しております。

また、聴覚障がい者の方につきましては、スマートフォン等の通信機器に防災情報メールの登録をさせていただきようご案内をさせていただきます。

ウォーキングの健康増進効果について



砂川 和也

新国会



問 ウォーキングによる2025年、2040年間の効果について伺う。

答 厚生労働省の調査研究によると1日1万歩を続けると、1人当たりの年間の医療費が約5,000円減るということも報告され、ウォーキングを生活に取り入れることで、介護予防や健康寿命を延ばすことにもつながると考えます。

問 アプリ「おけプッシュ」を活用した、いきいきポイントのデジタル化の考えを伺う。

答 健康長寿いきいきポイント事業は、65歳以上の高齢者が気軽に参加できるものであることが重要です。しかしながら、デジタル化が進む現在、高齢者が利用し

やすいものなのか、引き続き研究していきます。

問 やすいものなのか、引き続き研究していきます。

答 循環バス、試験運行各ルートの反響について

問 運行ルート変更後の意見・要望、乗降調査から見えてくる東側、西側の課題を伺う。

答 乗降調査は重ねていくものと考えます。桶川駅を目的に循環バスを利用される方が多い状況です。市に寄せられる意見・要望は、東側、西側ともに運行しなくなつた区間の再度運行です。

市は、循環バス、民間路線バスやタクシーを含んだ桶川市全体の公共交通を持続可能にしていくことも重要と考えます。どのように市内循環バス、

桶川市全体の公共交通をよりよい形にしていけるかが課題と捉えています。

問 市民に寄り添つた持続可能な利用しやすい循環バスに向けた考えを伺う。

答 多くの意見を頂き、循環バスと民間の公共交通機関をより利用しやすい形となるよう進めてまいります。

農地の調査データ活用について

問 農地利用状況のデータを活用した成果・実績について伺う。

答 農地は、所有者の諸事情などにより様々な理由で耕作ができない状況となっております。今年度は、市外に住まいの方で管理のできない農地を大規模農家の方へお願いし、耕作していただくことへつなぐ事例がありました。今後も農地利用の最適化に関する意見交換や協議を積極的に行ってまいります。

桶川市全体の公共交通をよりよい形にしていけるかが課題と捉えています。

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

本市の課題について市長の考えを伺う



坂本 敏治

日本共産党



問

ごみ処理施設整備は市独自の判断で運営できる市単独の施設をとの声について伺う。

答

国は①持続可能な適正処理の確保

②気候変動対策の強化③廃棄物の資源化、バイオマス活用の推進④災害対策の強化⑤地域の新たな価値の創出の主に5点を上げ、広域化、集約化の必要性を説いています。

問

市役所業務のデジタル化で業務はどう変化するかを伺う。

答

2040年頃には、民間わず労働力が減少するため、AIなどの未来技術を用いたスマート自治体への転換を図

問

必要があります。デジタル化を進めていき、職員は職員でなければできない市民サービスに軸足を移していく必要があると認識しています。

問

市役所業務を民間に任せすぎと思うが、市長の考えを伺う。

答

公共施設の管理運営、地域課題の解決に向けた包括連携など、良質な市民サービスが期待できる場合には、民間企業と連携を図っていきます。

問

新型コロナウイルス感染症対策について

答

市施設での陽性者判明で、市がどう対応したのか伺う。いずみの学園職員の感染時の対応

問

魅力ある道の駅に向けた取組について

答

農業・商工振興は、早急に取り組む課題ではないか。これまで検討してきましたが、事業者決定後、市と民間事業者、農業や商工業に携わる人たちが協力をし魅力あるものにしてほしいと考えます。

日本の性教育の遅れはジェンダー意識の遅れ



星野 充生

日本共産党



問

国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）は避妊具の正しい使い方や選び方、若年での予期せぬ妊娠によるマ

答

インナズ面などは、9歳12歳で習うべきこととし、また、ジェンダーに基づく差別や偏見の問題、性交渉における相手との同意といったコミュニケーションなど習うべき項目としている。

問

日本は遅れていると言わざるを得ない。学習指導要領では妊娠の過程は取り扱わないとしている。本来は学習指導要領より進んだ内容を扱うことは問題ない。しかし、性教育においては、積極的に取り上げようとした教員や学校が、学習指導要領の範囲を超えていることから政治家などから批判を

答

受けてきた歴史があり、積極的に取り上げようとしても二の足を踏む。学習指導要領より進んだ内容を扱うことに対する市の考えを伺う。

問

DV、児童虐待、妊娠等のSOS発信、相談体制の強化を

答

DVや児童虐待の数が過去最高に

問

対面、電話での相談だけでなく、メール、SNSでの相談窓口の体制について伺う。

答

妊娠の相談については、助産師会で行っております「にしんSOS埼玉」というところがございます。

問

DV、児童虐待に関しては、身近にいる方からの通報が非常に大きなきっかけとなっています。

答

母子手帳を渡す段階から職員が把握をしながら、出産後についても連携を取り、助産師の助言指導、その後児童のケースワーカーと、連携体制の中で対応しています。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

西側区画整理地区周辺について



岡野千枝子

新政会



問

区画整理事業の進捗状況を伺う。

答

進捗率は約98%で、換地処分は、

下日出谷東地区は令和3年9月、上日出谷南地区は令和4年2月を予定しています。両地区とも令和3年度内に換地処分となるので、清算算定等換地計画の準備を進めています。

問

愛宕東線の今後の予定を伺う。

答

愛宕東線は全延長1,080メートル、幅員12メートルの都市計画道路で、このうち平成30年10月までに土地区画整理事業区域内の合計約880メートル区間の整備が完了しています。現在、桶川西小学校西側の約200メートル区間が未整備です。

早期整備の必要性は認め

部へ順次整備を進め、令和4年度末の完成をめざしてまいります。

問

高井地区、雨水管の整備状況を伺う。

答

下日出谷東地区と高井地区の境の既存水路を雨水管へ順次切り替え、令和元年度に完了しました。

問

愛宕東線が、事業化した場合、完成まで何年かかるのか伺う。

答

完成までの事業期間は、国からの補助金の交付状況や事業用地取得にかかる時間など不確定な要素が多いので、完成までの見込み年数は難しい状況です。

問

高井地区の公共下水道汚水管の整備状況を伺う。

答

今年度より汚水管の整備を行い、沿線権利者の方々を対象とした事業説明会を実施し、10月から最下流部の工事に着手しました。今後とも下流部から上流

西小学校における新型コロナウイルス感染拡大時の対応について！



新島 光明

新風クラブ21



問

保健所は「濃厚接触者はいない」との一方PCR検査を指示している。保健所判断に何があったのか伺う。

答

陽性者が確認された際、校内での感染症対策や学習時のマスク着用状況等の情報提供の結果、保健所は「濃厚接触者はいない」と判断したものです。その後、陽性者の確認後は、感染経路の調査等のためのPCR検査の指示があり、実施したものです。

問

学校情報の発信ですが、初期段階では限定的で、結果保護者の間で不信感が広がった。何故全体に通知が行えなかったのか伺う。

答

初期段階の学校情報メールは、該当学年だけで、他の学年

には時間差が生じていました。しかし、その後は、必要な情報は同時発信するように改善しました。

問

今回、2月5日から14日間休業となったが、学校全体でPCR検査を行うことで、感染・非感染者を明らかにし、授業再開する手法もあつたと思うが、何故行わなかったか伺う。

答

市では、全校児童及び職員員のPCR検査又は市独自の検査が出来ないかを保健所に要望しましたが「できない」との回答でした。そこで臨時休業を行ったものです。

問

放課後児童クラブに通う児童の中にも感染が発生したが、学校と同様に濃厚接触者はいないと判断されたとは

しても、念の為にクラブ全体にPCR検査を実施すべきと思うが、何故できなかったのか伺う。

答

保健所から陽性児童の症状やクラブを含めた活動状況、これらを聞き取りした結果、「クラブを含め学校内に濃厚接触者に該当する者はいない」との判断でした。また、学校内で必要な方は、保健所と連携の上、検査を実施していますので、それ以上拡大して行く必要はないものと判断したものです。

自宅療養者への市の支援は実施に向け進めます！

問

埼玉県の自宅療養者への支援策を伺うと共に、桶川市独自の支援策の実施を伺う。

答

県の支援は、御飯・パスタ・缶詰等の詰合せの配食、オンライン健康相談、パルスオキシメーター貸与等です。市の支援策は早期実施に向けて準備を進めていきます。

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

今後の燃えるごみについて



佐藤 洋

新風クラブ21



問

ごみ問題は、行政の施策で、一番身近で創意工夫のできる問題だ。市民の皆さんは、大体1か月に20日間ぐらいごみの集積所に通っている。身近で、大事な問題なのに、集積所から無くなると、地球から無くなったような感覚になっている。

今、桶川市は、ごみ問題で一番困っている。桶川市の燃えるごみはどうなっていくのか伺う。
答 国はごみ処理事業における政策方針として、ごみ処理の広域化とごみ処理施設の集約化を掲げており、自治体のごみ処理施設整備に国の補助制度を活用するために、広域化、集約化の検討が義務づけられております。

注視しながら、広域化を基本として取り組んでまいります。

問

施設の新しい技術を捉えているか。

答

関東圏初となる乾式のメタン発酵

バイオガス発電施設が今年の秋、県内の民間事業所により稼働開始予定と聞いております。今後は、まずは民間施設でバイオガス発電等の新しい施設整備が進んでいくものと捉えております。

広域化を基本に

問

単独による整備は無いと思うが、

答

単独による整備を検討するのは、

広域処理の相手として適切な自治体がなかった場合ですので、まずは広域化を基本として検討していくことを最優先として取り組んでまいります。

避難行動要支援者が避難所を
使える体制にあるか



浦田 充

ともに生きる会



問

現在、災害時に直接避難できない福祉避難所へ直接避難できた場合の利点を伺う。

答

直接バリアフリーである施設に避難できることなどです。

問

福祉避難所を一次避難所として運用していないのはなぜか。

答

避難場所は指定できず、同時開設で、福祉避難所に避難者が集中し、福祉避難所が必要な方に十分に対応できない可能性があります。

問

避難所の中で福祉避難所機能を用意することは考えないか。

答

一般避難所でも、配慮できるような体制を取っていきます。

問

車椅子の通行を阻む駅西口公園のバリケード

問

学校での新型コロナ拡大時の対応
多数感染者が出

た西小で全校検査をしなかったのはなぜか。今後同様の事例では市で検査すべきではないか。

答

全校検査を要望しましたが、保健所が検査しないとのことでした。市独自の検査も、医療機関や保健所の圧迫につながりかねません。

問

西小での最初の検査時に職員が防護服等着ずに対応したのは問題では。今後そうならないよう対応できるか。

答

不安を抱かせないように、最低限の装備で臨みました。感染対策を行った上で教育活動を進めたいと思います。

問

車椅子などの通行が困難な駅西口公園

答

先日は一人では通行できない状態だったが、対策はあるかと車椅子が容易にと車椅子が容易に通行できることは相反し、両立は難しいところです。

問

学校での新型コロナ拡大時の対応

答

多数感染者が出



議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

コロナ過でも、病院は必要なのかな



北村あやこ

ともに生きる会



問

知事は医療ひっ迫を全国最低レベルの医療資源の乏しさと述べている。県も桶川市も同じだ。

答 医療法では誘致できる病院はある。このコロナ禍で脳梗塞の方が病院が見つからず、大変往生したという話も聞く。桶川市民のことを考えたら、県や国に働きかけ、病院を誘致していくべきだが、市長、その気はないのか。

答 実を言うと、県は地域医療計画の中間見直しを行っており、産婦人科の誘致など、何か特化した病院機能の誘致ができないか、チャレンジしていきたいと考えています。

法を守る市長の意識は

問

市長に政治哲学が見えない。法を守る精神をどう考えるか。

答 市政報告のチラシが新聞と各戸配布された。選挙違反の疑いが強い。堂々と認められた方法で選挙をしていただきたい。

問 法令遵守は仕事を進めていく上で特に重要と意識してきました。毎回新聞折り込みとポスティングではなく、交互に変えて定期的に発行しているのをご理解を。

随意契約の早急な公表と見直しを

問

随意契約や、総合評価、プロポーザルなどが未公表になっている。改善を。

答 ご指摘は平成13年施行の「公共工

事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令」で、予定価格250万円を超える随意契約の公表のことに思っています。2月12日にホームページで公表しました。本来施行時から公表すべきところ、私どもの認識不足でした。大変申し訳ありません。

問

こんなお粗末な公表は見たことがない。上尾市やさいたま市は随意契約の理由を具体的に書き、委託や物品購入も公表している。法律を勉強し、やり直しを。

答

先進事例を確認し、公表の仕方を検討します。

問

随意契約で一番多い課はリサイクル推進課の約6億円。理由が適当に書かれている。

答

平成24年に随意契約ガイドラインを策定しましたが、紹介されたさいたま市など先進事例を参考に、内容の改正を進めていきます。

いじめ、不登校の対策について



にいつま亮

新風クラブ21



問

コロナ前後のいじめ問題に対する取組について伺う。

答 コロナ禍前は、学校生活アンケートや児童生徒との面談、生徒指導委員会などによる情報共有などを取り組んでおりました。コロナ禍においては、新型コロナウイルスの感染拡大に係る心理的な不安などを児童生徒が抱え込まないように、先ほど申し上げた取組に加え、適宜声かけや面談を行うなど、児童生徒の把握に努めております。

問

コロナ前後の不登校児童生徒への取組について伺う。

答 不登校に係る取組として、小学校5校に新たに小学校相談員を配置するとともに、

問

教育センターにおける相談員の増員を行い、相談体制の強化を図っております。また、教育センターでの相談におきましては、感染が心配な方には、対面での相談ではなく、電話で対応するなど配慮しております。

問

ウェブやラインを活用した相談ツールについて伺う。

答

本市においては、GIGAスクール構想を進めており、市内の小中学校及び教育センターにも端末が整備されており、ご指摘のウェブでの相談につきましては、先進事例を参考にしながら、現在、状況等を踏まえ、このような取組ができるか検討してまいります。

問

不登校児に対する進路指導の対策、義務教育修了後の対応について伺う。

答

中学校卒業後、上級学校への進学の際は、就くことがきっかけで、不登校が解消される場合も多く報告されておりますので、卒業後の進路の選択肢を広げるため、個々の生徒の適性や興味、関心、将来の希望に沿って情報提供するなど、進路相談を丁寧に行っております。

また、義務教育課程修了後も、秋期、秋の募集や、過年度卒業生としての高校受験は可能でございますので、希望のある場合は、卒業した学校で相談に応じ、手続の説明や書類の作成について支援などを行っております。

桶川市議会のインターネット中継について

市議会では、インターネットによる議会中継を行っています。

ライブ中継では、ご自宅のパソコンやスマートフォンから、議会での審議や常任委員会の様子がリアルタイムで、どこでもご覧いただけます。

また、本会議の録画中継と同様に、令和3年度から**各常任委員会の録画中継を開始**いたします。常任委員会の録画中継のご視聴には、開催日から2週間程度かかりますので、ご了承ください。

桶川市議会スマート中継

検索



※令和3年3月定例会の議会報告会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、大変申し訳ありませんが実施をしません。議会の内容については本会議の録画中継をご参照ください。

定例会のお知らせ

6月定例会は6月1日(火曜日)午前9時30分開会で、会期日程は以下の予定で調整中です。
(※議長の公務や事業等の都合により変更する場合があります。)

[会期日程(案)]

1日 開 会 日
4日・7日・8日 常任委員会
9日・10日・11日・14日 一般質問
16日 閉 会 日

3月議会本会議傍聴者数

月日	2/22	24	3/4	12	16	17	18	19	23	25	合計
人	1	2	2	1	3	3	1	1	1	2	17

声の市議会だより、点字版市議会だよりのご利用を！

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により「声の市議会だより」、「点字版市議会だより」(紅花の会) (点字レモンの会) を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 786-3211 (代表)
788-4963・4964 (直通)

編集後記

新型コロナウイルスワクチン接種が市内の医療従事者より開始されました。5月からは高齢者(65歳以上)のワクチン接種が円滑に進められるよう、市役所部内に接種推進係を設け、取り組んでいます。市議会といたしましても、市民の安心安全のため、桶川市と知恵を出し合い、今年度も新型コロナウイルス対策支援事業に取り組んでまいります。一日も早いコロナ禍の収束と経済の回復、そして安心して生活できる平穏な日常の生活が戻ることを願うばかりです。

議会だより編集委員会

(山中)

委員長 星野 充生
副委員長 砂川 和也
委員 保坂 輝雄
委員 にいづま 亮
委員 浦田 充
委員 山中 敏正
委員 渡邊 光子
委員 糸井 政樹